

SuparMap iDesktop 11i(2022)更新リスト

SuparMap iDesktop 11i(2022)は、従来のリリースに、以下の機能追加や改良により性能向上を施しています。

●データ管理

- ・ Excel へのエクスポートを改良し、日付型フィールド、システムフィールド、SmX、SmY のエクスポートに対応し、長いフィールド名も維持するようになりました。

●マッピング

- ・ 主題図の改良をし、2D マップウィンドウで主題図を作成する際に 3D ネットワークデータセットに対応しました。
- ・ ラベル主題図を改良して、値フィールドの記述をラベル表示できるようになりました。
- ・ マップタイルの生成を改良し、全球分割の分割方式、基本スケールを投影座標系に対応させて、インデックス範囲の制限がなくなりました。

●3D シーン

1.3D データ

- ・ [データの抽出]機能を改良し、ポイント、ライン、ポリゴンデータの対応する上面の高さを取得して、3D ポイント、3D ライン、3D ポリゴンに変換できるようになりました。
- ・ [モデルキャッシュの一括生成]機能を改良し、テクスチャ圧縮タイプの、ETC、圧縮しない、PVRTC を削除し、KTX2.0 圧縮形式を追加しました。
- ・ [デバイス対応変換]機能を改良し、法線、ルートノードのカラーリングのパラメータ設定に対応し、S3M 形式のデータ入力に対応しました。テクスチャ圧縮タイプは ETC、圧縮しない、PVRTC を削除し、KTX2.0 圧縮形式を追加しました。
- ・ タイル管理機能を改良し、S3M データを保存した MongoDB のテクスチャ圧縮パラメータの設定に対応しました。
- ・ [3DTile→S3M]を改良し、ENU を楕円体から楕円体球のパラメータに変更し、“円球へ”、“楕円へ”に対応しました。
- ・ [地物撤去]機能を改良し、平坦化する平面の表示・非表示のコントロール、フィールド値を識別子としてサポートする平坦化平面のインポート、平坦化フィルタ高さパラメータの設定により平坦化平面より上の指定高さ範囲のみを平坦化する機能をサポートしました。
- ・ [モデルクリップ]機能を改良し、2次元面モデルに対応しました。

2.3D ジオデザイン

- ・ [材質ブラウザ]機能を改良し、材質の一括編集に対応しました。
- ・ [線形押し出し]機能を改良し、材質名の変更、テクスチャフィールドの設定に対応しました。

3.3 次元解析

- ・ マルチ見通しエリア解析機能を改良し、観測点のインポートに対応しました。

4.データ処理

- ・ [デバイス対応変換]3D タイルキャッシュデータの空間インデックス作成機能を改良し、空間インデックスのリーフノードファイル数の上限を撤廃しました。
- ・ TIN キャッシュ生成機能を改良し、キャッシュ生成時にチェックすれば、高い精度を維持するパラメータ設定に対応しました。
- ・ モデルキャッシュ生成機能を改良し、テクスチャ圧縮タイプは ETC、圧縮しない、PVRTC を削除し、KTX2.0 圧縮形式を追加、材質タイプ、2 番目のテクスチャなどのパラメータ設定に対応しました。素材の種類には、普通の材質、PBR 材質、UE 材質、Unity 材質があり、2 番目のテクスチャの種類には、明るい影のテクスチャ、自発光テクスチャがあります。

5.シーン

- ・ オブジェクトを中心とした回転機能を改良し、カメラの回転がグループに対応しました。
- ・ シーンサービス設定機能を改良し、iClient3D クライアントを使用するために、2D ポリゴンデータのシーン切り出し領域に対応しました。
- ・ iServer サービスシーンを開く機能を改良し、キーソースとキーの設定に対応しました。